

千里山地区乗合交通に係る住民説明会

日 時：2020年11月18日（水） 14：00～15：00

場 所：千里新田公民館

1. 開会

<主催者あいさつ>

<出席者紹介，資料確認>

<事務局 資料説明>

2. 質疑応答

- 質 問：できるだけ早く運行してほしい。停留所について疑問がある。N012～N013、N013～N014、N014～N015のバス停間距離が800mから900mぐらいある。中間にバス停がいる。特にN014からN015のバス停間距離は千里山駅から関大前駅と同じくらいの距離がある。N013からN014までの間、坂の降り口の手前に公園がある、そこにバス停をつくるとバス停間が400mぐらいになる。千里山駅西にバス停がないのは住民、利用者にとって致命的である。第一噴水はバス停ができないとのことであるが現状は駐停車が多くとまっている。あそこにバス停がないと住民は千里山駅までいかないといけない。どうしてもそのあたりに必要である。検討してほしい。
- 回 答：N014～N015間は距離があり、その中間の千里山病院にバス停設置を打診しました。救急車両の関係で敷地内の設置は困難とのことでした。現道も検討しましたが、警察協議の中で交通安全上認められないとのことでした。試験運行の時点でバス停の再考とのことであるが、ご指摘のあったところは戸建ての多いところでバス停の設置は地先の方から了解をとれる方が少ない。バス停の設置には時間を要し、まずはこの計画で試験運行をさせて頂いて、その中でバス停の設置箇所の検討を進めたいと思います。
- 質 問：計画の段階でバス停間の距離が長いので試験運行までに修正プランを考えて欲しい。地先とまずは交渉すべきではないか。千里山駅西にバス停がないのはおかしい。バス停間を短くする努力をしてほしい。千里山病院の坂の上であればバス停ができるのではないか。かんでんパバの前であればできるのではないか。
- 回 答：この計画が完全なものとは思っていません。試験運行の中でわかることもあると思います。繰り返しになりますが、令和3年度後半から試験運行を始めて、その中で検討していきたいと思います。今の時点でバス停の設置検討は時間がかかります。
- 質 問：運行するまで1年ほどある。800m程バス停がないのはおかしい。バス停間が長いところにバス停をつくってほしい。
- 回 答：運行までの期間については、2月に試験運行を開始したいと考えています。その前にはまず国に運行の許可を申請しないとはいけません。許可が降りるのに半年以上かかります。その時にはルート、バス停を決定しておかないといけません。実質的には半年ない状況です。その中で検討するが地先、警察との協議は困難です。この計画の協議も長くかかっています。この段階でこの計画を見直すのは2月の試験運行開始までは厳しい。なおこれが最終型ではありません。すいすいバスでも平成18年に試験運行を始め、本格運行は平成23年、5年間試験運行を実施して、その中で改善しながら本格運行を実現した。とにかく試験運行をはじめないと次の検討に進めない。

質 問：事情はわかるが、問題箇所が分かっているので考えて欲しい。

質 問：試験運行は大事です。ただ疑問を検討したため、試験運行2月が延びることを望んでいません。その中で検討してほしい。

回 答：検討しないわけではない。

質 問：繰り返しになるが試験運行は、運行しながらルートや停留所の検討を行えるものが試験運行ですか。

回 答：そうです。

質 問：ご存じだと思うが、高槻市の面積は吹田市の2.9倍あります。人口は変わらない。高槻市では市営のバスを走らせています。地域の事情に合わせて3種類のバスを走らせています。道路事情にあわせてバスのサイズを変えるのは当たり前である。やって頂くのは感謝するがもうちょっと考えて欲しい。試験運行するまでもなく欠点が出る。バス停間を短くするのはやろうと思えばできると思う。

回 答：停留所の位置は短い期間で決定するものではなく、かなり時間がかかります。

質 問：試験運行になったら変えられないのではないか。

回 答：試験運行の中で改善を検討していきます。

質 問：試験運行の中でバス停やルートを変えることもあるのか。先ほどのバス停の検討で試験運行が延びるのは望んでいない。試験運行がずれない範囲で検討してほしい。可能だったら一歩でも実現してもらえばいい。

回 答：試験運行の結果を踏まえて、地域公共交通会議の検討の中でバス停やルートの変更はあり得ます。

質 問：桃山台まで行きたいという意見はなかったのか。

回 答：確認しておきます。

4. 閉会

-略-